

熊野神社遺跡見学案内



■熊野神社遺跡とは？

日本古来の神の信仰と仏教の信仰が合わさった神仏習合の遺跡です。鎌倉・室町時代の頃、和歌山県熊野から本宮、新宮、那智の滝の三山信仰がこの地に迎えられました。

■専門ガイドがいます。

遺跡について詳しく案内するボランティアガイドがいます。ご相談ください。

■もっと勉強したい人へ

冊子があります。「熊野神社遺跡の謎に迫る」「熊野神社遺跡から佐治町の歴史を探索」「周辺遺跡から見た熊野神社遺跡」各500円



お問い合わせ 熊野会事務局

鳥取市佐治町加瀬木2542-1

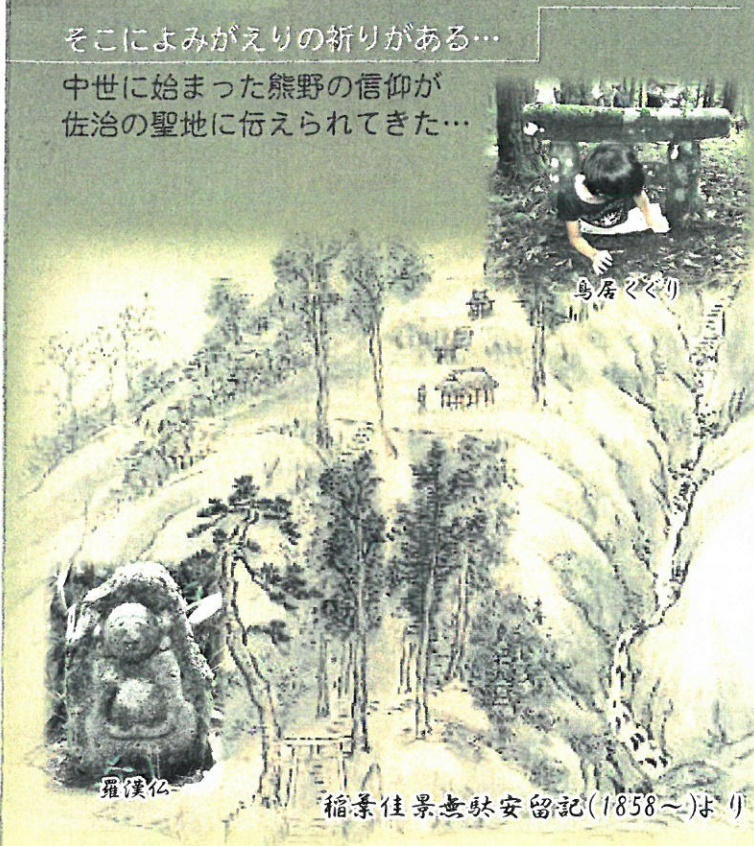
鳥取市教育委員会佐治町分室内

☎0858-88-0218

鳥取市指定史跡 熊野神社遺跡

そこによみがえりの祈りがある...

中世に始まった熊野の信仰が
佐治の聖地に伝えられてきた...



稲葉佳景無駭安留記(1858~)より

熊野神社遺跡の あらまし

沿革

遺跡は、飛鳥・奈良時代の古代信仰(古墳・自然崇拜)に起源をもち、鎌倉・室町時代の豪族佐治氏により、和歌山県熊野三山信仰を受け入れたのが始まりと考えられます。その後、一旦廃絶しましたが、江戸時代に再興し、大正時代まで神社として機能しました。修験者のよみがえりの聖地として、何でも願い事の叶う神として信仰されました。

昭和46年、中世・近世の人々の信仰をうかがい知る貴重な文化財として佐治村指定史跡となり、平成16年からは、鳥取市指定史跡として保護されています。

見所



積み石塔(古墳)：ピラミット状の造塔と羅漢仏

神蔵：神武天皇東征伝説(やた鳥)の巨石信仰

本殿：イザナミ、イザナギとスサノオを祀る

奥ノ院：森の生気を実感する深山の羅漢仏群

全国主要熊野神社

全国総数：2,591社

伝播ルート：海路(黒潮)

陸路(日光修験、羽黒修験など)



熊野神社遺跡見学案内図

羅漢とは悟りを開いた仏教修行者。信仰を集めた4体羅漢あり。

奥の院より約400m。
幅2m高さ12m。



なちのたき
那智の滝



流れ滝



みやまらかんぶつ
深山羅漢仏



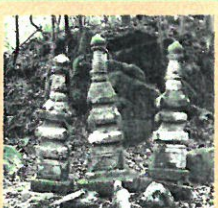
おくのいんよにんぼとけ
奥ノ院四人仏羅漢仏

本殿より約100m。
自然石の巨石上に石塔あり。



とうみょうのとう
燈明の塔

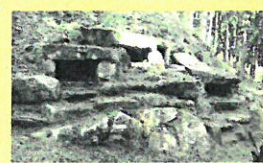
本殿にイザナギ、イザナミ、スサノオの祭神を祭る。スサノオを阿弥陀如来の梵字で記す。胎内潜りの鳥居、神霊降臨地・神蔵がある。



さんじゅうのとう
三重塔



いたび
板碑



おくのいんろくにんぼとけ
奥ノ院六人仏羅漢仏

急峻な岩壁下に羅漢窟。
礼拝者を微笑みで歓迎。



おくのいんがんべき
奥ノ院岩壁



本殿跡



ほんでんしょうとりい
本殿小鳥居



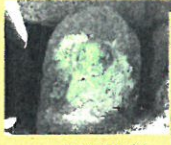
かんのくら
神蔵



羅漢仏



だい2 つくいしとろ
第2積石塔



羅漢仏



いわくら
下の磐座



いわくら
上の磐座

積石上に自然石の巨石がある。不思議な構造物。



第1積石塔

古墳とされるが積石の仏塔とする説もある。県内唯一の積石遺構。



にのみせんらんかんぶつ
仁王門羅漢仏



仁王門羅漢仏



ごもんとう
五輪塔

五輪塔は仏教信仰を表すモニュメント。質素な美しさ。

P

0 50m 100m